



保健だより

平成 29年 10月 2日

保育園夢未来 二俣川園

いよいよ14日は運動会です。夏を過ぎて、大きく成長している子どもたち。今年はどうな姿をみせてくれるのでしょうか。たくさん練習をして、子どもたちも楽しみにしている運動会。元気に当日を迎えたいですね。

【これからの時期に気をつけたい感染症】

10月10日は目の愛護デー

目の愛護デー



私たちは情報を得るための8割を目に頼っています。

視力が一番発達するのが乳幼児期です。目を大切にしていくなためにも生活を見直しましょう。子どもの目は、日々発達していて6歳頃には、ほぼ完成すると言われています。目の異常はできるだけ早期に発見し治療することが、大切です。

《全園児健康診断》

10月24日(火) 13:30頃

保育園で行いますので、いつも通りの登園で大丈夫です。定休や欠席の場合は後日行います。

RSウイルス感染症

・喘息のような咳で治りにくいのが特徴です。
(潜伏期間 2~5日)

インフルエンザ

・急な発熱、関節の痛みなどが特徴です。
(潜伏期間 1~3日)

ロタウイルス・ノロウイルス

・吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度の発熱
(潜伏期間 1~3日)

溶連菌感染症

・発熱、のどが赤く腫れる、細かい発疹が全身にでる。(潜伏期間 2~4日)

気になる症状が出たらすぐに、かかりつけ医を受診しましょう。

(予防接種を受けることで、重い合併症を 방지、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。)

10月15日は 世界手洗いの日

正しい手洗いを広めるため、国際衛生年であった2008年に、毎年10月15日が「世界手洗いの日」(Global Handwashing Day)と定められました。世界で、5歳の誕生日を迎えられずに、命を終える子どもたちは年間690万人。その原因の多くは、予防可能な病気です。私たちの生活には、当たり前のようにある水やトイレ、そして食事、それらが不足しているために、不衛生な環境や生活習慣を強いられ、下痢や肺炎にかかって命を失う子どもたちが200万人もいます。もし、石鹸を使って、正しく手を洗えることができれば、年間100万人もの子どもの命が守られ、また、下痢によって学校を休まなければならない子どもたちが大幅に減ります。自分の体を病気から守る、最もシンプルな方法の一つが石鹸を使った手洗いです。合言葉は、「手を洗おう、手をつなごう。」です。(引用 unicef「世界手洗いの日」)

♪衛生的♪
手洗い
手順



1 流水で洗浄する部分をぬらします。



2 薬用石けんまたは手洗いう消毒薬を手掌にとります。



3 手のひらを洗います。



4 手のひらで手の甲を包むように洗います。反対も同様に。



5 指の間もよく洗います。



6 指までよく洗います。



7 親指の周囲もよく洗います。



8 指先、爪もよく洗います。



9 手首もよく洗います。



10 流水で洗い流します。



11 ペーパータオル等で拭きます。